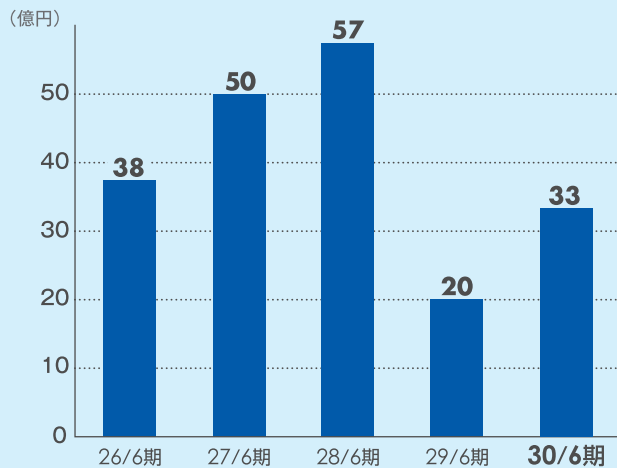


池田泉州ホールディングス 決算レポート

業績 High Light (平成30年度 第1四半期)

純利益*

33億円
(前年同期比+13億円)



※池田泉州ホールディングス連結 親会社株主に帰属する純利益

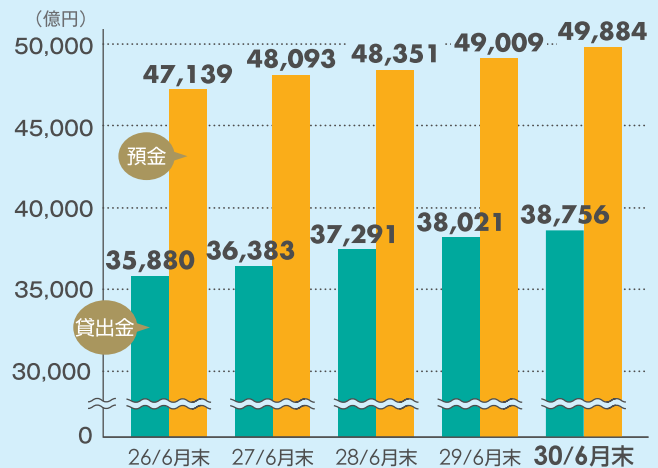
・貸出金利の低下が続くとともに、有価証券投資を抑制するなか、貸出残高の増加、役務利益の増強に加え、経費削減効果により、最終利益は33億円(前年同期比+13億円)確保。

貸出金*

3兆8,756億円
(前年同期比+735億円)

預金*

4兆9,884億円
(前年同期比+875億円)



※池田泉州銀行単体

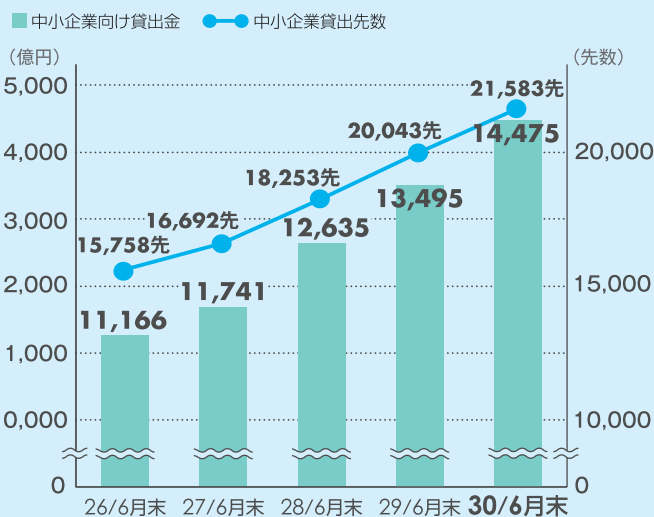
・地元中小企業貸出を中心に、貸出金は年間+735億円(年率1.9%)増加
・流動性預金を中心に、預金は年間+875億円(年率1.8%)増加

中小企業貸出先数*

21,583先
(前年同期比+1,540先)

中小企業向け貸出金*

1兆4,475億円
(前年同期比+980億円)

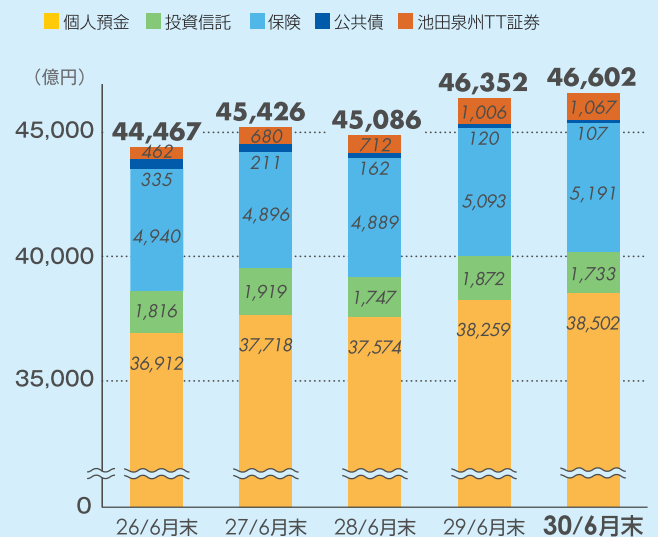


※池田泉州銀行単体

・貸出先への複合的な提案・課題解決に注力、中小企業向け貸出の先数は年間+1,540先(年率7.7%)増加、残高は年間+980億円(年率7.3%)増加

個人総預り資産残高

4兆6,602億円
(前年同期比+250億円)



・「お客さま本位の業務運営」を推し進め、個人預金と保険を中心にグループ全体の「個人総預り資産」残高は年間+250億円(年率0.5%)増加

株主還元

●安定配当を継続

- ・年間15円配当を実施(中間配当7.5円)
- ・配当利回り4.01%(平成30年6月末日株価374円)

●充実した株主優待制度をご用意

- ・地域ブランド発信の想いを込め、様々な地域特産品をラインナップ

池田泉州ホールディングス ニュース

池田泉州ホールディングスグループでは、日々の活動をニュースリリースという形で、皆さまに広くお知らせしております。ここでは当社グループのニュースリリースについて、主なものをご紹介します。ニュースリリースについては、ホームページ(<http://www.sihd-bk.jp/>)にも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

〈ニュースリリースの内訳(平成30年4月1日～平成30年7月20日)〉

(平成30年7月20日現在)

	法人のお客さまへ	個人のお客さまへ	その他含む合計	うち地域創生に関するもの
新商品・新サービス等制度のご案内	0	3	3	0
産学官連携等のご案内	3	4	10	6
新店舗・決算関係等のご案内	1	1	11	1
		合計	24	7

【地域創生】地域の雇用創出 「ドリームマッチジョブフェア2018」を開催しました!

地域の雇用創出を目的とした「ドリームマッチジョブフェア2018」をハリスホールにおいて、大阪府と共同で開催しました。働く魅力満載の中小企業約130社が出展する合同企業説明会のほか、オープニングセミナーではベストセラー『面接の達人』の著者・中谷彰宏氏に『働く楽しさと自分に合った企業の見つけ方』をお話いただきました。また、企業担当者と本音で話せる交流会などの様々なコンテンツをご用意、人材確保を望む企業と地元で就職を希望する方、双方のマッチングの場となりました。



帝塚山支店の移転について ～個人のお客さまご相談業務に特化した店舗へ～

本年9月10日に帝塚山支店を新築移転いたします。新店舗では、じっくりとご相談いただける個室のコンサルティングブースをはじめ、新たにセミナールームを設置するなど、これまで以上にお客さまの幅広い金融ニーズにお応えできる店舗へとリニューアルします。移転場所は大阪市南部の幹線道路である「南港通」に面し、お客さま専用駐車場も設置しております。

〈新しい帝塚山支店の特徴〉

- ①個人のお客さまご相談業務に特化した店舗設計
- ②「南港通」に面した場所で、お客さま専用駐車場を設置



「定期預金」取引のタブレット端末受付を開始 ～印鑑レス、ペーパーレスによる軽量化店舗実現に向けて～

本年9月より「定期預金口座開設(預入)および解約(払戻)」取引をタブレット端末で受け付けるシステムを稼働します。今回、新たに「定期預金」取引を追加することにより、投資信託、生命保険、普通預金、定期預金という主要な窓口業務を全て持ち運び可能なタブレット端末1台の中に盛り込み、訪問先、営業店窓口など接客場所を問わず、お客さまの資金運用ニーズに「ワンストップ」でお応えします。

〈本システムの特徴〉

- ①ペーパーレス: お客さまにご記入いただいている各種帳票削減
- ②印鑑レス: 暗証番号確認方式※による預金払戻
(※当行の普通預金キャッシュカード保有のお客さまが対象)
- ③オペレーションレス: タブレット端末のデータを勘定系端末に連携
- ④後方レス: タブレット端末のデータを集中センターに直接送信、バックヤード事務を削減
- ⑤タイムリーな対応: 持ち運び可能なタブレット端末でのお取引によりタイムリーにお客さまニーズにお応え

地方銀行7行による 共同出資会社フィンクロス・デジタルの設立について

本年5月、他行と連携・協働することで、当社グループのデジタル化をより効果的に進めていくことを目的に、群馬銀行、山陰合同銀行、四国銀行、千葉興業銀行、筑波銀行、福井銀行の6行と連携協定「フィンクロス・パートナーシップ」を締結しました。また翌6月には、その連携をサポートし、研究・開発の成果を具体化するための組織として、「株式会社フィンクロス・デジタル」を共同で設立しました。



〈同社で予定している開発・研究〉

- (1) 銀行業高度化のための人口知能(AI)
- (2) RPA(Robotic Process Automation)による業務効率化
- (3) 店舗のデジタル化
- (4) インターネットバンキングやバンキングアプリのUX/UIの向上



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025

2025年 国際博覧会を大阪・関西へ

池田泉州銀行グループは、オフィシャルパートナーとして大阪・関西への万博誘致を応援しています。



池田泉州ホールディングス

SIHD
大阪市北区茶屋町18番14号 TEL (06) 4802-0181
<http://www.senshuikedada-hd.co.jp>



池田泉州銀行

SIHD
大阪市北区茶屋町18番14号 TEL (06) 6375-1005
<http://www.sihd-bk.jp>